

JAかとり 自己改革の動き

2018 年度

1 月 20 日

職員全体研修を開催

神崎ふれあいプラザ（神崎町）で、自己改革の取り組みについて全職員に対する研修会が開かれ、職員百七十六名が集まりました。

武田代表理事組合長は、職員の意識改革について述べ「大事なことは二つ。一つ目は組合員の声を真摯に受け止め行動すること。二つ目は、JAが組合員に必要とされる組織であり続けるために、一人ひとりが自ら考えて行動すること」と挨拶しました。



JA 千葉中央会 島貫 大 講師

研修会ではJA常勤役員が、自己改革の内容を含む「平成三十年度事業取組方針」や「会計監査人監査」の説明。またJA千葉中央会から講師を招き、自己改革の背景と組合員調査の説明がされました。

研修会后、JA女性部の椿千春さんが「家の光」活用の発表が行われ、閉会しました。



4 月 14 日

役職員全体研修を開催

神崎ふれあいプラザ（神崎町）で役職員全体研修会が開かれ、役員 199 名が集まりました。

武田代表理事組合長は「平成 31 年 4 月の『全組合員調査』については、組合員の声を持って農協改革に対峙する切り札として、しっかり対応する必要がある。JAが置かれていることは二つある。一つは、JAと地域において組合員に歩み寄る必要性があり、互いに知るといふこと。二つ目は自己改革において今まで築き上げたものを、自信を持って発信できる力をもつことが求められている」



JA 全中 佐久間 幸子 講師

と挨拶し、人と人との関係や情報の共有のあり方を再構築していくことを訴えました。

研修会は、JA全中から講師を迎え「JA組織基盤強化に向けた『くらしの活動』の戦略的展開について」と題した全国の様々な活動事例を紹介しました。

講師は「くらしの活動を通じて地域住民にJAの活動を発信することが組織基盤の強化につながる」と話しました。

